

## 歌うウグイス100歳までも！ 熊石チャリティー演芸

5月23日、熊石カラオケ愛好会主催の「熊石チャリティー演芸会」がふれあい交流センターくまいし館で開催され、約80人の参加者が伸びやかな歌声や趣向を凝らした踊りを心ゆくまで楽しみました。司会の熊石レディースネットワークの吉田久子さんが「歌うウグイス100歳までも。さあ、皆さんはりきっていきましょう」と、会場に熱を注ぐと、続いて町内の歌自慢や踊り自慢によるステージが約3時間にわたり繰り広げられました。

会場の中には八雲町社会福祉協議会への募金箱が設置され、主催者から「集まった募金は町内の福祉事業などに役立てられます」と報告されました。



## 山から海への自然のつながりを感じて！ 開町10年記念植樹祭

開町10年を記念する植樹祭（八雲町、八雲町森林・林業・林産業活性化議員連盟主催）が5月23日、町内熊石館平地区の町有林で行われ、熊石、八雲両地域の町民約140人が参加しました。今年は開町10年を記念し、初めて熊石地域で開催され、参加した町民らはクワやスコップを手に、約30センチの深さの穴を掘って、北海道を代表する落葉広葉樹のミズナラの苗木1,000本を丁寧に植えていきました。家族で参加した雲石小学校2年の余湖結斗くんは「穴を掘って苗を植えるのが楽しかった。将来はお父さんのような林業士になりたい」と話していました。

八雲町内では、今年度、各団体等で5回植樹祭を行っており、ミズナラ、ツツジなど約2,400本の木の苗が植えられました。



## 安心安全、 災害のないまちづくりを！ 相沼小学校・ 熊石防火クラブ

防火意識を新たにし、悲惨な火災を防ごうと6月5日に、相沼小学校の児童で構成する相沼少年消防クラブと、熊石婦人防火クラブによる防火鼓笛パレードが行われました。

このパレードは昭和22年に相沼地区で発生した大火を忘れることなく、今後の防火活動に生かしていこうと20年以上も続く恒例行事で、鼓笛隊の軽快なメロディーに合わせ、消防車両を先導に、児童によるカラーガード隊が館平地区から折戸地区を行進し、沿道の住民に「火災のない町」と呼びかけました。



## 語り合い・学び合い・楽しみあう！ 第10期熊石生きがい学習塾開校

町教育委員会による第10期熊石生きがい学習塾の開校式が、5月29日にふれあい交流センターくまいし館で行われ、塾生として16人が出席しました。生きがい学習塾は、高齢者が健康で生きがいを持ち、語り合い・学びあい・楽しみあう豊かな人生を送るための場として設けられ、約10回の講座が予定されています。開校式のあと、熊石俳句学習サークルの佐藤雅幸さんを招いて、俳句作り講座が行われました。佐藤さんは「楽しく詠むこと、どんどん作ること、素直に詠むことが俳句作りの基本です」と話し、塾生たちは説明に熱心に耳を傾けていました。

